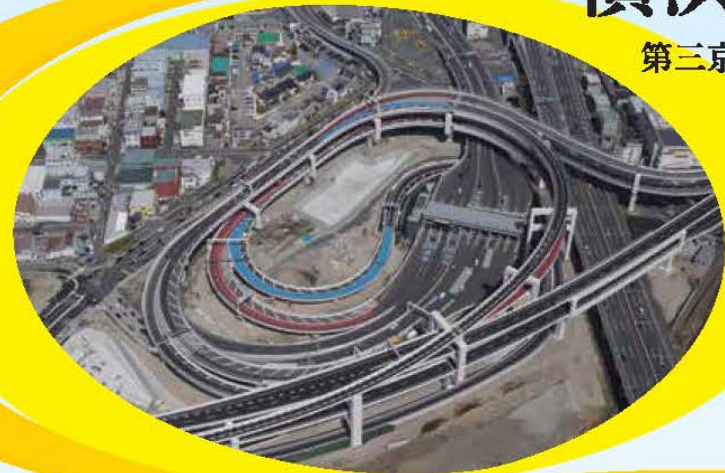


# 横浜環状道路



横浜青葉 JCT

東名高速道路とつながる



横浜港北 JCT

第三京浜道路とつながる



生麦 JCT

首都高速道路とつながる  
(横羽線・湾岸線)

事業中  
横浜環状南線  
横浜湘南道路





## 横浜環状道路とは？

横浜環状道路“横環（よこかん）”は横浜市の道路ネットワークの骨格を形成する自動車専用道路のことです。

横浜都心から半径10～15kmを環状に結ぶ計画で、横浜環状南線が事業中です。

横浜北線は、平成29年3月18日に開通し、横浜北西線は令和2年3月22日に開通しました。

西側区間については、首都圏の道路ネットワーク計画や本市の道路状況などを見ながら検討していきます。

凡例	
	横浜環状道路(事業中)
	横浜環状道路(供用済)
	横浜環状道路(構想中)
	自動車専用道路
	自動車専用道路(事業中)
	自動車専用道路(計画中)
	一般国道



## 横浜環状道路等の役割

横浜北線・横浜北西線が東名高速道路とつながることで、また、横浜環状南線が横浜湘南道路などと圏央道の一部として首都圏の広域的な道路網を形成することで、東北道や関越道・中央道など、全国各地へのアクセスが飛躍的に向上し、国際コンテナ戦略港湾である横浜港の国際競争力が強化されます。

また、横環の整備により、災害時の緊急輸送路が複数確保され、防災力の強化が図られます。

さらに、こうした道路ネットワークの強化によって、既存道路の交通混雑緩和、移動時間の短縮、環境改善などの効果も期待されています。

横環は、人、物の流れをスムーズにし、横浜のバランスある発展を後押しするとともに、市民生活の安全・安心の確保に大きく寄与します。





# 横浜環状道路の整備効果

## アクセス時間が短縮されます

### 横浜環状南線

横浜環状南線は、首都圏を環状につなぐ「圏央道」の一部です。横浜湘南道路など県内の圏央道が整備されることにより、横浜港から東名高速や中央道へのアクセスが飛躍的に向上します。



#### 圏央道（首都圏中央連絡自動車道）とは？

圏央道は、都心から半径およそ40km～60kmの位置に計画された、延長約300kmの高規格幹線道路です。圏央道は、横浜、厚木、八王子、川越、つくば、成田、木更津などの都市を連絡し、東京湾アクアライン、東京外かく環状道路などと一体となって首都圏の広域的な幹線道路網を形成する首都圏3環状道路の、一番外側に位置する環状道路です。

この圏央道は、首都圏の道路交通の円滑化、環境改善、沿線都市間の連絡強化、地域づくり支援、災害時の代替路としての機能など多くの役割を担います。

### K7 横浜北線・横浜北西線

横浜北線と横浜北西線が一体となって整備されることにより、東名高速道路と横浜港が直結。市北西部と横浜都心の連絡が強化され、交通の利便性が向上しました。

また、新横浜都心や市北部の産業集積地から、横浜港や羽田空港などの物流拠点へのアクセスが大幅に向上し、市内経済の一層の活性化に役立っています。





# C4 横浜環状南線

## E66

※横浜環状南線の釜利谷JCT～栄IC・JCT間は「C4」  
栄IC・JCT～戸塚IC間は「E66」になります。

### 計画概要

起 点 金沢区釜利谷町(横浜横須賀道路釜利谷JCT)  
終 点 戸塚区沢沢町(国道1号)

延 長 約8.9km(うち横浜市域8.4km)  
事業者 国土交通省・  
東日本高速道路株式会社

関連街路 上郷公田線、横浜藤沢線、  
田谷線、環状3号線



# C4 横浜湘南道路

(横浜環状道路には含まれません)

### 計画概要

起 点 栄区田谷町(栄IC・JCT)  
終 点 藤沢市城南1丁目(新湘南バイパス)

延 長 約7.5km(うち横浜市域1.9km)  
事業者 国土交通省・東日本高速道路株式会社

※横浜環状南線等に関するインターチェンジ、ジャンクション、出入口、  
換気所の名称は、釜利谷ジャンクションと藤沢インターチェンジ以外、す  
べて仮称です。



# K7 横浜北西線

## ■ 事業概要

起 点 青葉区下谷本町(東名高速道路横浜青葉JCT)  
 終 点 都筑区川向町(第三京浜道路横浜港北JCT)  
 延 長 約7.1km

事業者 横浜市  
 首都高速道路株式会社  
 開通日 令和2年3月22日

関連街路 川向線



# K7 横浜北線

## ■ 事業概要

起 点 都筑区川向町(第三京浜道路横浜港北JCT)  
 終 点 鶴見区生麦二丁目(横羽線生麦JCT)  
 延 長 約8.2km

事業者 首都高速道路株式会社  
 開通日 平成29年 3月18日

関連街路 川向線、長島大竹線、  
 岸谷生麦線、大田神奈川線



# 交通が分散され、 沿線地域の環境改善が期待できます

横浜環状南線と並行する環状4号線、横浜北線・横浜北西線と並行する保土ヶ谷バイパスは、いずれも慢性的に渋滞しています。

横環や関連する街路が整備されると、周辺の道路の混雑が緩和され、沿線地域の交通安全の確保や環境改善が期待されます。

横環や関連する街路が開通すると…

保土ヶ谷バイパス等の混雑が緩和

混雑を避けて、  
生活道路に入り込んでいた車が減少

混雑の緩和で、  
車が安定した速度で走行

地域での  
交通事故が減少

CO2などの排出ガス  
削減された沿線地域の  
環境が改善

## 大規模災害への備えが充実します

東日本大震災において高速道路は、地震発生から約20時間後には、緊急輸送路としての役割を確保し、被災地へ向かう自衛隊などの緊急車両の通行や物資の輸送に利用されました。

横環が整備されると、地震などの災害時には、東名高速道路や横浜横須賀道路などと一体となって、緊急輸送路としての役割が期待されます。



自衛隊車両の通行  
(東北道 仙台宮城 I C)



応急復旧の現場を通行する緊急車両  
(東北道 福島飯坂 I C～国見 I C)

### お問い合わせ先



横浜市道路局 横浜環状道路調整課

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 TEL:045-671-2778/FAX:045-651-2325  
URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/doro/kousokudoro/>  
令和5年9月作成

データ提供: 首都高速道路株式会社